

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 7 月 29 日 更新

事務事業名		交通安全施設設置事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	田代 純児
	施 策	16	交通安全対策の推進			所属課	安全安心課	担当者名	下田 青空
	施策の柱	52	交通事故防止対策の推進			所属班	交通防犯対策班	(内線)	1243
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10050	根拠法令	交通安全対策基本法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 16 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	- カーブミラー、区画線等交通安全施設の設置、修繕等、交通安全施設の維持管理を行なう事業である。 - また、各地区からの要望に応じて、県公安委員会が整備する信号機や規制標識などの交通規制関係の要望をとりまとめ、熊本北合志警察署に上申している - 住宅地並びに事業所の増加に伴い人口、自動車等も多くなり、また、市道の総延長距離も延びており、交通危険箇所は増加している現状がある。
【業務の流れ】	- 地区からの要望書の取りまとめ及び市内全域の調査、設置の決定、設計書の作成、発注、検査、支払い - 地域からの報告または破損の確認、現場確認、発注、検査、支払い - 地区からの要望書の取りまとめ及び市内全域の調査、公安委員会へ要望書の提出
【主な予算費目】	- 需用費（施設修繕費） - 工事請負費
【意見や要望】	区からのカーブミラー設置、停止線、標識等の要望が多く寄せられている

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動)	5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO)	6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
	市民又は区長等からの要望や連絡を受け、現地を確認し、カーブミラー新設(6件)・修理(41件)を行った。また規制を必要とするものについては、熊本北合志警察署へ要望の提出を行った。	交通安全施設(カーブミラー、停止指導線等の区画線、啓発看板)の設置工事及び修繕
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:カーブミラー新設数	箇所	区画線修理(施設修繕費)の増
→ イ:カーブミラー修繕数	箇所	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
・市民		→ ア:市民
		→ イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・見通しの悪い交差点及び危険箇所を減らし、安全確保を維持する。		→ ア:市内での交通事故発生件数
・未然に交通事故を防止する。		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費 の推移		単位	3年度 実績(決算)	4年度 実績(決算)	5年度 目標(当初予算)	5年度 実績(決算)	6年度 目標(当初予算)	7年度 予定	8年度 見込	9年度 見込	
① 活動指標	ア	箇所	5	7	15	6	13	13	13	13	
	イ	箇所	24	23	50	41	50	50	50	50	
② 対象指標	ア	人	63,841	64,453	65,500	64,787	65,311	66,650	68,409	69,457	
	イ										
③ 成果指標	ア	件	102	105	140	116	140	140	140	140	
	イ										
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円				1,000				
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	4,178	4,423	5,121	4,089	5,288	5,288	5,288	5,288
	(A) 事業費計	千円	4,178	4,423	5,121	5,089	5,288	5,288	5,288	5,288	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 件 費	正規職員従事人数	人	6	4	6	3	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	750	850	600	890	600	600	600	600
	(B)人件費計		千円	2,932	3,235	2,390	3,241	2,390	2,390	2,390	2,390
トータルコスト(A)+(B)		千円	7,110	7,658	7,511	8,330	7,678	7,678	7,678	7,678	

事務事業名	交通安全施設設置事業	所属部	総務部	所属課	安全安心課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度的事後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した カーブミラー新設 9箇所、カーブミラー修繕 16箇所、区画線引き直し等 9箇所を実施し、目標を達成した。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 カーブミラー等の交通安全施設の設置要望などにに基づき調査・施工するため目標達成の見込みはある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 要望があった交通安全施設を整備することにより、危険箇所が減少し、交通事故の減少に影響することが考えられることから向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある⇒（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 人口増加に伴う交通量の増加等により事故発生の可能性は増加すると考えられる。それに対応し、事故を減少させていくためには、事業費の削減余地はないものと考えられる。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 要望箇所は増えてきており、その調査や設置事務に要する時間もあり、削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 交通安全施設は道路利用者全員が受益者であることから公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 交通安全施設等の管理は行政の責務であり妥当である。

3 評価結果の総括（CHECK）

交通安全対策の要望は年々増加しており、関係機関とよく協議を行い効果的で最適な対策を実施していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☒現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持		○																									
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												